

報道関係者各位  
 2018年8月13日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK: 945



## 2018年度第1四半期報告

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO: 吉住公一郎、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)の2018年度第1四半期(4月1日~6月30日)業績をお知らせいたします。

<2018年度第1四半期業績のハイライト>

新契約の状況(※)	新契約高	5,209億円
	新契約件数	5万6千件
	新契約年換算保険料	219億円
保有契約の状況(※)	保有契約高	13兆7,746億円
	保有契約件数	134万9千件
	保有契約年換算保険料	5,743億円
保険料等収入		2,463億円
四半期純利益		58億円
総資産		2兆78億円
ソルベンシー・マージン比率		809.6%

※個人保険と個人年金保険の合計です。

### マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、130年以上の歴史を持ち、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の3つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」のもと、お客さまが自ら健康で豊かな未来を切りひらいていくためのサポートをしています。詳細はホームページ([www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp))をご覧ください。



## 2018年度第1四半期報告

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO:吉住公一郎)の2018年度第1四半期の業績は添付の通りです。

※資料中、「第1四半期」は4月1日～6月30日を表しております。

<目次>

	頁
1. 主要業績	1
2. 資産運用の実績(一般勘定)	3
3. 四半期貸借対照表	5
4. 四半期損益計算書	6
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	8
6. ソルベンシー・マージン比率	9
7. 特別勘定の状況	11
8. 保険会社及びその子会社等の状況	11

以上

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2017年度末		2018年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	999	116,054	1,014	101.5	116,838	100.7
個 人 年 金 保 険	318	19,993	335	105.4	20,908	104.6
団 体 保 険	—	356	—	—	372	104.6
団 体 年 金 保 険	—	32	—	—	31	97.4

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金及び個人年金保険に付加された特約の死亡保障額を合計したものです。ただし、個人変額年金保険については、保険料積立金の金額です。
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2017年度 第1四半期累計期間				2018年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	28	5,442	5,443	△ 1	33	120.2	3,864	71.0	3,864	△ 0
個 人 年 金 保 険	20	1,419	1,419	—	22	107.8	1,345	94.8	1,345	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
2. 新契約の個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。ただし、個人変額年金保険については、新契約時の基本保険金額です。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位:百万円、%)

区 分	2017年度末	2018年度 第1四半期会計期間末	
			前年度末比
個 人 保 険	442,008	447,994	101.4
個 人 年 金 保 険	122,902	126,359	102.8
合 計	564,910	574,353	101.7
うち医療保障・ 生前給付保障等	90,953	90,444	99.4

### ・新契約

(単位:百万円、%)

区 分	2017年度 第1四半期累計期間	2018年度 第1四半期累計期間	
			前年同期比
個 人 保 険	20,542	16,173	78.7
個 人 年 金 保 険	6,391	5,785	90.5
合 計	26,933	21,958	81.5
うち医療保障・ 生前給付保障等	3,673	1,762	48.0

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)です。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
3. 年換算保険料(新契約)は、新契約に、転換による純増加を加えた数値です。

## 2. 資産運用の実績(一般勘定)

### (1) 資産の構成

(単位:百万円、%)

区 分	2017年度末		2018年度 第1四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	55,220	3.8	33,393	2.3
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有価証券	1,273,934	88.8	1,304,817	90.6
公 社 債	821,128	57.2	813,628	56.5
株 式	29,671	2.1	26,702	1.9
外 国 証 券	409,487	28.5	450,472	31.3
公 社 債	389,587	27.2	426,422	29.6
株 式 等	19,900	1.4	24,050	1.7
その他の証券	13,647	1.0	14,013	1.0
貸付金	20,213	1.4	22,648	1.6
不動産	24,452	1.7	24,415	1.7
繰延税金資産	—	—	—	—
その他	61,098	4.3	55,271	3.8
貸倒引当金	△ 247	△ 0.0	△ 249	△ 0.0
合 計	1,434,670	100.0	1,440,296	100.0
うち外貨建資産	344,191	24.0	371,994	25.8

(注)「不動産」については土地・建物を合計した金額を計上しています。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	2017年度末					2018年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差 益	差 損	差 益			差 損		
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	435,282	451,753	16,471	23,104	6,633	485,616	502,930	17,314	23,827	6,513
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	820,536	831,755	11,218	28,154	16,936	793,783	811,877	18,093	26,315	8,222
公 社 債	466,736	481,659	14,922	15,458	536	460,692	475,561	14,869	15,234	365
株 式	25,585	29,157	3,571	4,334	762	23,518	26,189	2,670	3,423	752
外 国 証 券	315,272	307,616	△ 7,655	7,650	15,306	296,641	296,695	53	6,931	6,877
公 社 債	304,254	293,774	△ 10,479	4,671	15,151	281,891	278,872	△ 3,018	3,812	6,831
株 式 等	11,018	13,841	2,823	2,978	154	14,750	17,822	3,071	3,118	46
その他の証券	12,942	13,322	380	711	331	12,931	13,431	500	726	226
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	1,255,818	1,283,508	27,690	51,259	23,569	1,279,400	1,314,808	35,407	50,143	14,735
公 社 債	806,206	839,181	32,975	36,224	3,249	798,759	832,446	33,687	36,339	2,652
株 式	25,585	29,157	3,571	4,334	762	23,518	26,189	2,670	3,423	752
外 国 証 券	411,085	401,848	△ 9,237	9,989	19,226	444,190	442,740	△ 1,450	9,654	11,104
公 社 債	400,067	388,006	△ 12,060	7,010	19,071	429,440	424,918	△ 4,522	6,535	11,057
株 式 等	11,018	13,841	2,823	2,978	154	14,750	17,822	3,071	3,118	46
その他の証券	12,942	13,322	380	711	331	12,931	13,431	500	726	226
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。  
 2. 一部の責任準備金対応債券について、通貨関連のデリバティブ取引があり、当該金融派生商品の時価は2017年度末で5,856百万円、2018年度第1四半期末で5,360百万円です。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	2017年度末	2018年度 第1四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	463	463
その他の有価証券	6,569	7,231
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	50	50
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	357	342
非上場外国債券	—	—
その他	6,161	6,838
合 計	7,032	7,694

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	2017年度末 要約貸借対照表 (2018年3月31日現在)	2018年度 第1四半期会計期間末 (2018年6月30日現在)
		金 額	金 額
(資産の部)			
現金及び預貯金		63,279	39,109
有価証券		1,849,313	1,864,778
国債		340,612	331,570
地方債		78,921	82,252
社債		401,595	399,805
株		29,671	26,702
外国証券		455,460	506,423
その他の証券		543,052	518,023
貸付金		20,213	22,648
保険約款貸付		13,006	13,141
一般貸付		7,206	9,506
有形固定資産		25,522	25,517
無形固定資産		4,113	4,457
代理店貸		160	146
再保険貸		13	57
その他の資産		56,356	51,421
貸倒引当金		△ 247	△ 249
資産の部合計		2,018,724	2,007,886
(負債の部)			
保険契約準備金		1,838,477	1,803,340
支払準備金		37,390	39,821
責任準備金		1,800,158	1,762,659
契約者配当準備金		928	859
代理店借		5,143	3,819
再保険借		50,367	73,070
その他の負債		27,073	24,476
未払法人税等		386	592
リース債務		293	244
資産除去債務		43	44
その他の負債		26,350	23,595
役員賞与引当金		34	42
退職給付引当金		2,109	2,037
価格変動準備金		3,181	3,339
繰延税金負債		4,674	5,770
負債の部合計		1,931,061	1,915,895
(純資産の部)			
資本金		56,400	56,400
利益剰余金		19,896	25,706
その他利益剰余金		19,896	25,706
繰越利益剰余金		19,896	25,706
株主資本合計		76,296	82,106
その他有価証券評価差額金		15,191	13,025
繰延ヘッジ損益		△ 3,825	△ 3,140
評価・換算差額等合計		11,366	9,884
純資産の部合計		87,663	91,991
負債及び純資産の部合計		2,018,724	2,007,886

#### 4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	2017年度 第1四半期累計期間 (2017年4月1日から 2017年6月30日まで)	2018年度 第1四半期累計期間 (2018年4月1日から 2018年6月30日まで)	
		金 額	金 額	
<b>経 常 収 益</b>		<b>251,188</b>	<b>306,995</b>	
<b>保 険 料 等 収 入</b>		<b>215,652</b>	<b>246,323</b>	
保 険 料		148,606	174,472	
再 保 険 収 入		67,045	71,850	
<b>資 産 運 用 収 益</b>		<b>28,979</b>	<b>22,633</b>	
(うち利息及び配当金等収入)	(	5,322)	(	5,895)
(うち有価証券売却益)	(	1,603)	(	2,310)
(うち金融派生商品収益)	(	81)	(	—)
(うち為替差益)	(	1,158)	(	7,418)
(うち特別勘定資産運用益)	(	20,810)	(	7,008)
<b>そ の 他 経 常 収 益</b>		<b>6,556</b>	<b>38,038</b>	
(うち支払備金戻入額)	(	994)	(	—)
(うち責任準備金戻入額)	(	4,900)	(	37,498)
<b>経 常 費 用</b>		<b>252,760</b>	<b>295,679</b>	
<b>保 険 金 等 支 払 金</b>		<b>222,354</b>	<b>266,508</b>	
保 険 金		6,680	6,842	
年 金		18,867	20,604	
給 付 金		5,764	5,878	
解 約 返 戻 金		61,244	46,108	
そ の 他 返 戻 金		1,411	1,723	
再 保 険 料		128,385	185,351	
<b>責 任 準 備 金 等 繰 入 額</b>		<b>0</b>	<b>2,430</b>	
支 払 備 金 繰 入 額		—	2,430	
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0	
<b>資 産 運 用 費 用</b>		<b>633</b>	<b>2,040</b>	
(うち支払利息)	(	13)	(	1)
(うち有価証券売却損)	(	374)	(	1,583)
(うち有価証券評価損)	(	2)	(	90)
(うち金融派生商品費用)	(	—)	(	75)
<b>事 業 費</b>		<b>27,278</b>	<b>22,415</b>	
<b>そ の 他 経 常 費 用</b>		<b>2,493</b>	<b>2,283</b>	
<b>経 常 利 益 ( △ は 損 失 )</b>		<b>△ 1,572</b>	<b>11,316</b>	
<b>特 別 利 益</b>		<b>—</b>	<b>—</b>	
<b>特 別 損 失</b>		<b>139</b>	<b>216</b>	
固 定 資 産 等 処 分 損		0	58	
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		139	158	
<b>契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額</b>		<b>5</b>	<b>5</b>	
<b>税 引 前 四 半 期 純 利 益 ( △ は 純 損 失 )</b>		<b>△ 1,717</b>	<b>11,094</b>	
<b>法 人 税 及 び 住 民 税</b>		<b>75</b>	<b>3,350</b>	
<b>法 人 税 等 調 整 額</b>		<b>587</b>	<b>1,934</b>	
<b>法 人 税 等 合 計</b>		<b>662</b>	<b>5,284</b>	
<b>四 半 期 純 利 益 ( △ は 純 損 失 )</b>		<b>△ 2,380</b>	<b>5,809</b>	



## 注記事項

(四半期貸借対照表関係)

2018年度第1四半期会計期間末		
1. 契約者配当準備金の異動状況は、以下のとおりであります。		
イ.	当期首現在高	928 百万円
ロ.	当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	74 百万円
ハ.	利息による増加	0 百万円
ニ.	契約者配当準備金繰入額	5 百万円
ホ.	当第1四半期会計期間末現在高	859 百万円

(四半期損益計算書関係)

2018年度第1四半期累計期間
1. 普通株式に係る1株当たり四半期純利益は100,651円41銭であります。

## 5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

	2017年度 第1四半期累計期間 (2017年4月1日から 2017年6月30日まで)	2018年度 第1四半期累計期間 (2018年4月1日から 2018年6月30日まで)
<b>基礎利益</b>	<b>△ 2,616</b>	<b>12,933</b>
キャピタル収益	2,843	9,729
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	1,603	2,310
金融派生商品収益 為替差益	81 1,158	— 7,418
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	1,532	11,187
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	374	1,583
有価証券評価損	2	90
金融派生商品費用 為替差損	— —	75 —
その他キャピタル費用	1,155	9,438
<b>キャピタル損益</b>	<b>1,310</b>	<b>△ 1,458</b>
<b>キャピタル損益含み基礎利益</b>	<b>△ 1,305</b>	<b>11,474</b>
臨時収益	39	50
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	0	0
その他臨時収益	38	49
臨時費用	306	208
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	306	208
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
<b>臨時損益</b>	<b>△ 266</b>	<b>△ 158</b>
<b>経常利益(△は損失)</b>	<b>△ 1,572</b>	<b>11,316</b>

(注)1.「基礎利益」には、次の金額が含まれています。

	2017年度 第1四半期累計期間	2018年度 第1四半期累計期間
外貨建保険商品に係る為替差損益	1,155	—
契約条件変更に基づく個人年金保険の解約等による責任準備金削減額	△ 38	△ 49
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	—	9,132
マーケット・ヴァリュア・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	—	305

2.「その他キャピタル費用」には、次の金額が含まれています。

	2017年度 第1四半期累計期間	2018年度 第1四半期累計期間
外貨建保険商品に係る為替差損益	1,155	—
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	—	9,132
マーケット・ヴァリュア・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	—	305

3.「その他臨時収益」には、次の金額が含まれています。

	2017年度 第1四半期累計期間	2018年度 第1四半期累計期間
契約条件変更に基づく個人年金保険の解約等による責任準備金削減額	38	49

4. 2017年度決算から、外貨建保険商品に係る為替差損益の開示方法を、「為替差益」もしくは「為替差損」より直接控除する方式から、「その他キャピタル収益」もしくは「その他キャピタル費用」に含める方式に変更しています。これに伴い、2017年度第1四半期累計期間につきましても同様の取り扱いで開示しています。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

### (1) 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	2017年度末	2018年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	203,142	204,344
資本金等	76,296	82,106
価格変動準備金	3,181	3,339
危険準備金	18,628	18,836
一般貸倒引当金	10	12
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ 損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	15,535	13,448
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 217	△ 353
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	81,970	76,956
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	7,738	9,998
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	48,252	50,475
保険リスク相当額 $R_1$	1,689	1,706
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	756	760
予定利率リスク相当額 $R_2$	3,451	3,542
最低保証リスク相当額 $R_7$	478	363
資産運用リスク相当額 $R_3$	43,267	45,471
経営管理リスク相当額 $R_4$	992	1,036
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	841.9%	809.6%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
2. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は2011年金融庁告示第25号第1項第1号に規定する額、「負債性資本調達手段等」は同告示第1項第2号に規定する額、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第1項第3号に規定する額を記載しています。
3. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

## (2) 連結ソルベンシー・マージン比率

子会社であるマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社との連結ソルベンシー・マージン比率を算出し開示しています。

(単位:百万円)

項 目	2017年度末	2018年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	204,733	205,895
資本金等	77,887	83,658
価格変動準備金	3,181	3,339
危険準備金	18,628	18,836
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	10	12
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	15,535	13,448
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 217	△ 353
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	81,970	76,956
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	7,738	9,998
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	48,122	50,351
保険リスク相当額 $R_1$	1,689	1,706
一般保険リスク相当額 $R_5$	—	—
巨大災害リスク相当額 $R_6$	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	756	760
少額短期保険業者の保険リスク相当額 $R_9$	—	—
予定利率リスク相当額 $R_2$	3,451	3,542
最低保証リスク相当額 $R_7$	478	363
資産運用リスク相当額 $R_3$	43,139	45,348
経営管理リスク相当額 $R_4$	990	1,034
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	850.8%	817.8%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び2011年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は2011年金融庁告示第25号第4第1項第1号に規定する額、「負債性資本調達手段等」は同告示第4第1項第2号に規定する額、「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額」は同告示第4第1項第3号に規定する額を記載しています。
3. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区 分	2017年度末	2018年度 第1四半期会計期間末
個人変額保険	57,573	68,009
個人変額年金保険	526,480	499,580
団体年金保険	—	—
特別勘定計	584,054	567,590

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2017年度末		2018年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険(有期型)	13	55,904	13	58,009
変額保険(終身型)	63	312,088	73	359,034
変額積立特約	—	1,726	—	1,741
合 計	76	369,719	86	418,786

(注)個人変額保険の保有金額には、一般勘定で運用されるものを含んでいます。

#### ・個人変額年金保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2017年度末		2018年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	72	524,755	69	498,074
合 計	72	524,755	69	498,074

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

2018年度第1四半期においては、子会社等の規模を考慮し、当企業集団全体の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。